

株主・投資家のみなさまへ

第108期 報告書

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで



日本輸送機株式会社

株主・投資家のみなさまへ

株主の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご配慮を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて当社第108期（平成20年4月1日より平成21年3月31日まで）の決算を行いましたので、その概要をご報告するにあたりご挨拶申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国の経済は、年度前半では穏やかな景気落ち込みで推移しましたものの、一昨年米国に端を発した金融不安の世界経済への波及や急激な円高の進展による企業収益の大幅な減少、輸出や設備投資の減退など、急速に事業環境が悪化し、かつてないほどの厳しいものとなりました。

当社グループの主力商品であるフォークリフト業界におきましては、国内総需要台数としては前年度比16.0%減となり、環境配慮からのバッテリー化の追い風もありましたものの、年度後半には減退傾向が顕著となり、バッテリーフォークリフトも前年度比10.2%の減少を余儀なくされました。

また、物流システム業界においても、年度後半には省人化・省力化投資ニーズは大きく後退し、同業他社との競争や市場価格の下落などの影響もあり、商品価格面など市場環境は厳しい状況が継続することになりました。

このような経済環境下、当社グループはバッテリーフォークリフト専門の強みに加え、保管・搬送の複合システム技術を生かした商品の提供、また、顧客満足を優先させたサービスの提供など、顧客ニーズに沿った商品開発や販売促進を進めてまいりました。

これらに加え経営管理面では、当社グループは、法令順守の徹底に取り組んでおります。なお、平成22年3月期は非常に厳しい事業環境下での運営となりますが、フォークリフト市場は環境問題の高まりからバッテリー化が進行（2009年3月期の全フォークリフトに占める、バッテ

CONTENTS

株主・投資家のみなさまへ	01
営業の概況	03
決算のご報告	05
トピックス	11
新製品紹介	12
株式情報	13
会社の概況	14

表紙写真 大型バッテリーフォークリフト「トランサー 5t・6t 積」

リーフォークリフトの比率は52.9%)しており、また少子高齢化による物流面での省力化、省人化や物流コスト削減の顧客ニーズも高まっており、総合物流機器メーカーとしての当社のコア技術が活かせる環境でもあります。更に、本年4月1日より、三菱重工業(株)との共同出資による国内での統合販社を設立し、営業・サービス面でのシナジー効果による業績向上を目指します。

具体的には、以下に記載しております中期的な諸施策の注力とともに、短期的には「雇用確保」、「赤字回避」の方針に則り、人材再配置や機能別組織改編による人員活用対策、間接材・サービスの一元管理化による経費削減対策、海外調達拡大や外注先選別などによるコスト低減活動の強化対策を実行し、この難局に立ち向かう所存でございます。

(中期目標)・国内フォークリフトシェア第2位の獲得

- ・海外事業の拡大
- ・物流システム事業の拡大
- ・コンポーネント事業への参入

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

取締役社長

裏辻 俊彦 (うらつじ としひこ)

プロフィール

昭和14年9月10日生まれ

- 平成元年4月 MHI フォークリフトアメリカ(株) 取締役社長
- 平成3年10月 三菱重工業(株)相模原製作所副所長
- 平成9年2月 当社入社 顧問
- 平成9年6月 当社常務取締役 就任
- 平成10年12月 当社海外事業部長
- 平成15年6月 当社生産・技術担当資材部長
- 平成16年6月 当社取締役社長(現任)



営業の概況

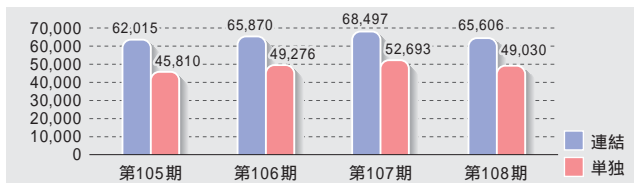
営業の経過および成果

当連結会計年度における経営成績は、国内・海外向けの三菱重工業㈱へのOEM供給拡大や年度前半でのロシア向けを中心とした輸出の増加が寄与し、年度前半では半期ペースで過去最高の売上を記録しましたが、年度後半以降、輸出の減少と国内の投資抑制の影響を受け、連結売上高は前年度比4.2%減の656億6百万円となりました。

一方損益面につきましては、固定費削減を中心とした早めの不況対策を実施しましたが、売上高減少及び年度前半からの鉄鋼等材料の値上げなどによる素材費高止まりの影響が大きく、営業利益は前年度比約半減の12億6千9百万円（前年度比54.0%減益）、経常利益は12億1千5百万円（同52.6%減益）となりました。また、当社及び子会社での固定資産処分損1億5千6百万円を特別損失に計上したことや国内販売子会社の連結納税制度離脱に伴う繰延税金資産取崩等があり、当期純利益は前年度比76.9%減益となる3億8百万円となりました。

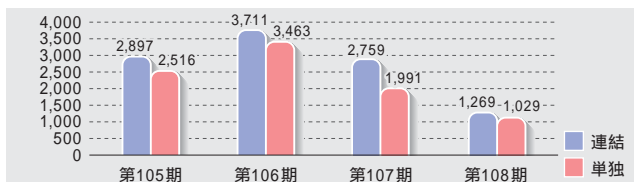
売上高

（単位：百万円）



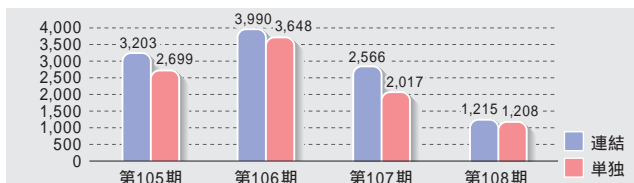
営業利益

（単位：百万円）



経常利益

（単位：百万円）



事業の種類別セグメントの概況

産業車両部門 [バッテリーフォークリフト、自走台車、機関車]

当部門では、主力のバッテリーフォークリフトの国内需要は前年度比10.2%の減少となり、国内での当社売上高は同様に減少しました。また、年度前半でのアジア地域やロシアなどの新規市場への輸出増加やOEM供給の拡大が寄与しましたが年度後半からの国内・海外向けの売上が急速に減少しました。その結果、当部門の売上高は518億8千7百万円（前期比1.5%減収）となりました。

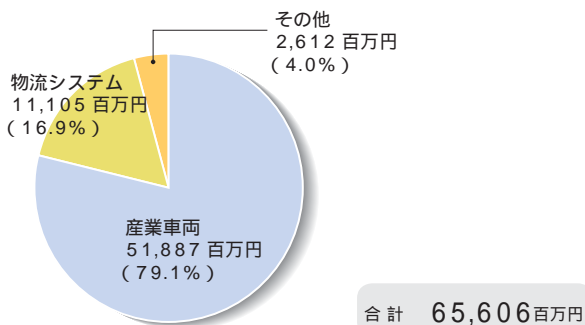
物流システム部門 [無人搬送システム、自動倉庫などの物流合理化製品]

当部門では、大型物件の受注減少や客先都合による延期、キャンセルが発生したこともあり、前年度比12.9%減の111億5百万円の売上にとどまりました。

その他部門 [産業用清掃機器および巻取機製品]

当部門では、液晶関係の投資一巡の影響から巻取機製品の売上高が減少となり、当部門の売上高は26億1千2百万円（前年度比15.8%減収）となりました。

■ 連結売上高の構成 平成20年4月1日から平成21年3月31日まで



決算のご報告（連結）

連結貸借対照表（平成21年3月31日現在）（単位：百万円）

科 目	金 額
（資産の部）	
流動資産	25,978
現金及び預金	4,105
受取手形及び売掛金	15,748
リース投資資産	1,075
たな卸資産	3,862
繰延税金資産	824
その他	410
貸倒引当金	48
固定資産	24,320
有形固定資産	16,347
建物・構築物	5,909
機械装置及び運搬具	5,569
リース資産	76
土地	4,284
その他	506
無形固定資産	166
投資その他の資産	7,806
投資有価証券	4,511
繰延税金資産	2,475
その他	920
貸倒引当金	101
資 産 合 計	50,299

科 目	金 額
(負債の部)	
流動負債	21,229
支払手形及び買掛金	13,139
短期借入金	4,224
リース債務	213
未払金・未払費用	1,463
未払税金	466
賞与引当金	982
役員賞与引当金	69
受注損失引当金	24
その他	645
固定負債	11,577
長期借入金	3,807
リース債務	581
繰延税金負債	24
退職給付引当金	6,909
役員退職慰労引当金	249
その他	6
負 債 合 計	32,806
(純資産の部)	
株主資本	16,855
資本金	4,890
資本剰余金	3,299
利益剰余金	8,696
自己株式	31
評価・換算差額等	442
その他有価証券評価差額金	665
為替換算調整勘定	223
少数株主持分	194
純 資 産 合 計	17,492
負 債 純 資 産 合 計	50,299

連結損益計算書 (平成20年4月1日から平成21年3月31日まで) (単位:百万円)

科 目	金 額
売上高	65,606
売上原価	52,042
売上総利益	13,563
販売費及び一般管理費	12,293
営業利益	1,269
営業外収益	307
営業外費用	361
経常利益	1,215
特別利益	8
特別損失	186
税金等調整前当期純利益	1,038
法人税・住民税及び事業税	514
法人税等調整額	186
少数株主利益	28
当期純利益	308

決算のご報告（単独）

単独貸借対照表（平成21年3月31日現在）（単位：百万円）

科 目	金 額
（資産の部）	
流動資産	27,157
現金及び預金	1,982
受取手形	2,454
売掛金	17,078
たな卸資産	2,063
繰延税金資産	311
短期貸付金	2,255
その他	1,012
固定資産	18,034
有形固定資産	8,025
建物・構築物	3,928
機械及び装置	2,258
土地	1,321
その他	518
無形固定資産	73
投資その他の資産	9,934
投資有価証券	3,830
関係会社株式	705
関係会社出資金	848
長期貸付金	2,509
繰延税金資産	1,974
その他	72
貸倒引当金	6
資 産 合 計	45,191

科 目	金 額
(負債の部)	
流動負債	18,293
支払手形	1,758
買掛金	9,607
短期借入金	2,626
一年以内に返済する長期借入金	649
未払金・未払費用	2,255
未払税金	298
賞与引当金	429
役員賞与引当金	51
受注損失引当金	29
設備支払手形	32
その他	556
固定負債	9,689
長期借入金	3,615
退職給付引当金	5,796
役員退職慰労引当金	249
その他	28
負 債 合 計	27,982
(純資産の部)	
株主資本	16,542
資本金	4,890
資本剰余金	3,299
資本準備金	3,299
利益剰余金	8,382
利益準備金	440
その他利益剰余金	7,941
買換資産圧縮積立金	245
特別償却準備金	11
別途積立金	330
繰越利益剰余金	7,354
自己株式	30
評価・換算差額等	667
その他有価証券評価差額金	667
純 資 産 合 計	17,209
負 債 純 資 産 合 計	45,191

単独損益計算書 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで) (単位:百万円)

科 目	金 額
売上高	49,030
売上原価	39,171
売上総利益	9,859
販売費及び一般管理費	8,829
営業利益	1,029
営業外収益	333
営業外費用	154
経常利益	1,208
特別利益	14
特別損失	596
税引前当期純利益	625
法人税・住民税及び事業税	380
法人税等調整額	613
当期純損失	367

トピックス

三菱重工業(株)と国内販売事業を統合。 ニチユMHIフォークリフト株式会社設立。

2009年4月1日付にて、当社と三菱重工業(株)の国内販売事業を統合致しました。当社の連結子会社であり、国内販売事業の統括会社である「ニチユMHIフォークリフト株式会社」を新設し、その傘下には同社の完全子会社として日本国内に9社の地域販売会社を設置致しました。

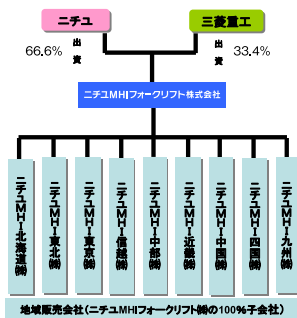
当社ならびに三菱重工業(株)の保有する経営資源を相互補完的に活用することにより、強固な経営基盤を確立すると共に、両社の強みを活かし最大限のシナジー効果を創出。成長の加速を通じて、顧客価値・株主価値の創造を目指します。

統合により、当社および三菱重工業(株)がフォークリフト等の国内販売事業に関して有する人材・ノウハウ・拠点網・製品ラインナップ等の資源を集約することによって、多様化するお客様のニーズに対応できる販売サービス体制を確立し、お客様満足の更なる向上を図ります。

併せてマーケティング力を強化することにより、お客様のニーズを集約し、当社・三菱重

工業(株)・ニチユMHIフォークリフト(株)の3社共同で、国内フォークリフト市場に各社の強みを活かした商品の開発など新たな価値を提供できる商品開発を推進してまいります。

組織図



ニチユMHIフォークリフト(株)ならびに地域販売会社の詳細につきましては、当社のホームページをご覧ください。

<http://www.nichiyunet.co.jp/>

新会社設立のごあいさつ

ニチユMHIフォークリフト株式会社・ (日本輸送機(株)取締役)社長 灰崎恭一

このたび日本輸送機(株)と三菱重工業(株)とは、フォークリフトの国内販売事業を統合した新会社「ニチユMHIフォークリフト株式会社」を設立致しました。互いに培ってきた技術や思いを一つにした総合力で、より一層お客さまのお役に立てるよう努力してまいります。なにとぞよろしくお願い致します。

日本輸送機(株)はバッテリーフォークリフト製品と国内販売網において、三菱重工業(株)はエンジンフォークリフト製品と海外販売網において、それぞれ強みを持っており、事業の相互補完性が高く、ベストの組合せと考えて

おります。

フォークリフト市場の今後を見据えますと、これからは世界市場におけるプレゼンスを意識していかなくてはなりません。今回の統合によって、国内2位のシェアが磐石になり、世界においてもトップ3を射程に入れることができました。技術・営業両面において確固たる経営基盤を得て、お客さまのニーズを先取りしたかたちで新市場を創造したいと考えております。



新製品紹介

新製品「大型バッテリーフォークリフト」

安全と環境に十分に配慮したトランサーの5t / 6t車が登場

地球環境や作業環境への配慮からエンジン車からバッテリー車への切り替えが確実に進んでおり、全フォークリフトにおけるバッテリー車比率はついに過半数を超えました。そんな中、大型バッテリーフォークリフトの5t、6t車が新登場しました。安全に荷役作業が行えるように、車体後方をモニター画面で確認しながら作業できる安心感は、ニチユならではの頼もしい装備です。また好評の「デジタル荷重計」や「OIS」(離席時走行・荷役インターロックシステム)も標準装備。もちろん電力量とCO2排出量、または電力量と充電時の電気料金をディスプレイに表示する「電力量計」もオプション装備となっているので、環境活動を推進中の企業にピッタリです。安全、環境にやさしい大型トランサーにご期待下さい。



新製品「ライダー型無人フォークリフト」

無人・有人運転兼用フォークリフト、フレキシブルな搬送・荷役作業を実現

ライダー型無人フォークリフトは、基本車体にリーチ型フォークリフト「プラッター」を使用し、無人運転が可能となる制御装置、安全装置を搭載した無人、有人運転切替可能な新しいタイプのフォークリフトです。少子、高齢化が加速し、物流現場でもますます省人、省力化が求められています。従来タイプの無人専用のフォークリフトは、生産現場での部品供給、製品の一時保管等、工程間搬送に広く導入されているが、本ライダー型無人フォークリフトは、運転席を設け、無人運転時以外でもトラックへの積み込みなどの有人作業が可能。現場の稼働状況によりフレキシブルな運用が可能という点で投資効果の高い新タイプのフォークリフトとして注目されています。



株式情報

平成21年3月31日現在

株式の状況

発行可能株式総数	140,000,000株
発行済株式総数	46,977,832株
当期末株主総数	3,618名

所有者別分布状況



大株主

株主名	持株数	出資比率
	千株	%
三菱重工業株式会社	9,400	20.0
株式会社ジーエス・ユアサ パワーサプライ	4,701	10.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	3,814	8.1
明治安田生命保険相互会社	2,765	5.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	2,214	4.7
東京海上日動火災保険株式会社	1,853	3.9
日興シティ信託銀行株式会社	1,494	3.2
株式会社三菱東京 UFJ 銀行	1,363	2.9

- (注) 1. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社の持株数は、信託業務に係るものであります。
2. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社の持株数は、信託業務に係るものであります。(退職給付信託口・島津製作所口 1,369千株、同・大日本塗料口400千株を含む。)

株主メモ

INFORMATION

平成21年3月31日現在

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
剰余金の配当 毎年3月31日
(その他必要のある場合には、あらかじめ公告します。)



JQA-2390
JQA-EM4909

- 公告の方法 当社のホームページに掲載いたします。
(<http://www.aspir.co.jp/koukoku/7105/7105.html>)
ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

- 株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社

- 同事務取扱場所 〒541-0041 大阪市中央区北浜二丁目2番21号
中央三井信託銀行(株)大阪支店証券代行部

- 郵便物送付先 (電話照会先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行(株)証券代行部
電話0120-78-2031(フリーダイヤル)

取次事務は中央三井信託銀行(株)の本店および全国各支店ならびに日本証券代行(株)の本店および全国各支店で行っております。

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため、特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行(株)にお申出ください。

未払配当金の支払について

株主名簿管理人である、中央三井信託銀行(株)にお申出ください。

上場株式配当等の支払いに関する通知書について

租税特別措置法の平成20年改正(平成20年4月30日法律第23号)により、平成21年1月以降にお支払いする配当金について株主様あてに配当金額や源泉徴収税額等を記載した「支払通知書」を送付することが義務づけられました。

配当金領収証にてお受取りの株主様は年末または翌年初に「支払通知書」を送付いたしますのでご覧ください。口座振込を指定されている株主様は配当金支払いの際送付している「配当金計算書」が「支払通知書」となります。なお、両書類は確定申告を行う際その添付資料としてご使用いただくことができます。